

小松沢レジャー農園へ (2020/11/10)

青空の会

11月10日(火) 8:50 飯能駅に10名が集まり、西武秩父行きに乗って横瀬駅まで行った。今日の天気は快晴だったので、車窓の風景はとてもきれいに見え、特に黄色に染まった銀杏の木や紅色に変色したモミジなどが目立った。駅について小松沢レジャー農園へ電話をかけ、マイクロバスを手配すると、とても新しい車がやってきて皆驚いた。この山奥の農園には少し汚れて古くなったものが似合うが、ちょっときれすぎだった。

入口でぶどう狩りのチケットを購入し、移動した所は靴を脱いで食事をするBBQガーデンで、400人位食事ができる広い場所であった。床から3mくらいの高さにぶどう棚があり、その上に透明な屋根が付いていた。畑のぶどうは葉っぱも落ちていますが、この場所だけは緑色の葉をつけ、たくさんの房がぶら下がっていた。ロザリオロッソやロザリオビアンコなど自由に取って良いとのことだった。どれも皮ごと食べられ、30分間食べ放題である。味比べをするため5人ずつのグループに分かれ、まず5房取った。この時の道具が面白かった。通常のぶどう棚は地面から1.8mくらいの高さだから、剪定はさみで収穫できるが、ここは1.2mくらいの高枝剪定はさみに昆虫採集用の網を取り付けたオリジナル道具を使った。食べ始めは勢いがあったが、10分くらいするとたくさん食べられないと悟り、食べるペースはゆっくりになった。おいしい1房を追加収穫し、味の薄いものは食べきれなかった。今回のぶどう狩りは座布団やテーブルがあり、お客は我々10名だけだったのでとてもリラックスできました。

初めの計画はしいたけ狩りやニジマス釣りもやる予定でしたが、食べ物は持ち込み禁止だったため、これらは中止にした。バッグなどに入れているおにぎりなどと一緒に食べられるのであれば、計画通りに推進したが、ちょっと残念でした。その後、農園が管理する千本紅葉山をミニハイキングした。紅色や橙色、黄色、緑色など色彩豊かで、太陽が当たる所は鮮明で眩しかった。山の上で武甲山や横瀬町を一望しながら早いランチを取った。空気が澄み風も穏やかだったので、たった20分くらいのミニハイキングでしたが、4~5時間かかるハイキングの気分も味わう事が出来ました。

帰路は計画より1.5時間も早いため、札所めぐりをしながら駅に向かった。札所7番の法長寺はとても大きく、門前道路は長く、格式の高い寺のようでした。札所9番は明智寺で、法長寺に比べると簡素な寺でした。

13:46 発飯能行に乗って終点で下車し、ガストで反省会をしました。今日の振り返りや最近の生活状況など、思い思いに語り合い、みな笑顔に満ちていました。シニアの集団でしたが、声だけを聴くとパワーがあり、まるで若い仲間たちのように聞こえたでしょう。



ぶどう狩り



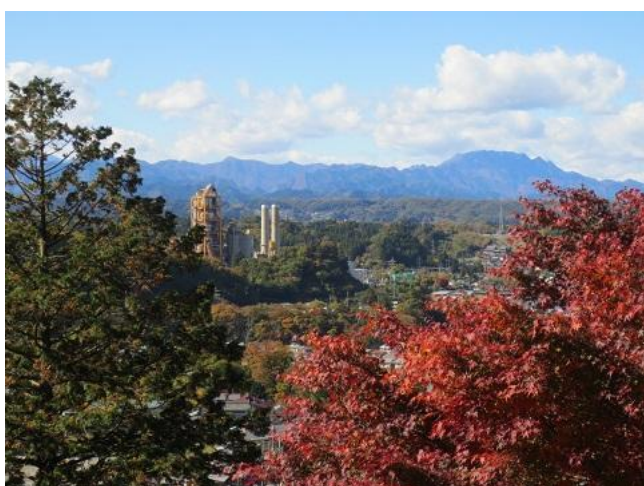
ぶどう狩り



ミニハイキング途中の東屋



武甲山と紅葉



千本紅葉山から見た横瀬町セメント工場



小松沢レジャー農園入口